

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：ベビーステーションセンター南	種別：認可保育所
代表者氏名：岡田 彰子	定員（利用人数）： 60名
所在地：〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央53-2	
TEL：045-941-6130	
ホームページ：www.babystation.co.jp	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2018年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：有限会社ベビーステーション	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員： 17名
専門職員	（専門職の名称） 名 栄養士 保育士 看護師
施設・設備の概要	（居室数）乳児室・1歳室・事務室(医務室)・幼児室・幼児トイレ・給食室・更衣室 （設備等）床暖房・冷暖房・園庭・砂場・温水設備等

## ③理念・基本方針

## 【保育理念】

人が人として本来持つべき姿、真摯、勇気、愛、あらゆる面をバランスよく持ち、グローバルな視点を持つ人に育つように

## 【保育目標】

「素」と「表現」を重んじて「生きる力の基礎を培う  
子どもが感じたままの思い【素】を  
おおらかに表現できる環境【表現】を提供し  
社会の中で生きる力  
「思いやる心」「豊かな感性」  
「主体に考える力」を育んでいきます

## 【園の目標】

「わくわくどきどきがぎゅっと詰まった園」

## 【基本方針】

- ・個性を大切に思いやりの心を育てる
- ・遊びながら創造力や自主性をやしなう
- ・心身ともに健康な体づくりをする

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・子ども主体のダイナミックな多彩な活動や行事を多く取り入れている
- ・外部講師による英語教室・体操教室の実施
- ・食育活動の充実

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年9月8日（契約日）～ 令和3年3月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

#### ⑥総評

##### ◇特に評価の高い点

##### 1)子ども達のやりたい気持ちを大切に汲み上げている

園の将来像「わくわくどきどきがぎゅっと詰まった園づくり」の実現に向けて様々な活動をダイナミックに体験できるように職員が取り組んでいます。園では、令和元年度が、初めて5歳児が在籍することになり、年長・年中児保育で、子どもたちの意見を取り入れた活動を行うことを主軸に置いて考える契機になりました。

隣町の農園オーナーの協力で、サツマイモ堀りができ、収穫したお芋でクッキングをし、パーティーで大きな興味・関心・充実に繋がり、子どもの笑顔・わくわく感に繋がりました。この経験が「自分たちでやってみたい意欲」に繋がり、子どもたちのやりたい気持ちを汲み上げ、大きな成果が生まれています。節分、夏祭りの他に、発表会では、自分たちのやりたい演目、役決めも行い、子どもたちの満足そうな表情が見られました。園庭でのフィンガー・ペインティング、マラソン大会など、盛りだくさんの行事が並んでいます。

##### 2)衛生的な環境整備を心がけています

子ども達が保育園で快適に過ごせるための環境整備をきめ細かく行っています。保育室は床暖房で、室内の温度、湿度、換気などの環境に適切な状態を保っています。トイレはフロア続きで、スリッパのスペースも子どもたちに分かりやすくしています。清掃手順書にはチェック表が用意され、衛生管理がきちんと行われています。

乳児の保育室は、床暖房の上にジョイントマットを敷き詰め発達に依りて、這う、座る、歩くなどなど運動機能の発達を促せる配慮をしています。毎日、夕刻にはジョイントマットを挙げて室内の清掃と玩具の消毒も行っています。午睡で使用している布団を全園児分、年間4回ほど、ローテーションを組んで洗って清潔に配慮しています。全園児が集まったの誕生会や行事も換気に気を付け、時間を半減するなどの配慮を行っています。また、看護師が主となって月に一度CPR訓練を行い、乳幼児突然死症候群チェックの他、嘔吐処理、熱性けいれん、手洗い、うがいなど丁寧に研修を行っています。

##### ◇改善を求められる点

##### 1)地域との交流に工夫

運営方針の中に「地域に開かれた保育園、地域に根付いた子育ての中心でいられるように積極的に地域と交流することを考えます」と明記されています。地域の行事には積極的に参加する予定です。

しかし、育児相談や園庭開放等具体的な計画もありますが、今年度は、コロナ禍での制

約もあり、来年度は自治会にも入る予定をしていますが、園の立地が駅に近く、大きなビル街にあることも関連して、地域との交流には、徐々に積み重ねる工夫が求められます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園して、初めて第三者評価を受審いたしました。  
受審にあたり、何回も職員全員で自己評価の内容を話し合いました。その結果、予想以上にたくさんの気付きと反省、自園のウィークポイントが  
明確になり、これだけでも非常に大きな第三者評価の意義を感じました。  
「わくわく・ドキドキがぎゅっと詰まった園」を作り上げることは、開園当初からぶれていませんが、そこにちゃんと向かっていけているのか  
悩みもありました。保護者アンケートの結果や評価委員の方に高く評価していただき、今まで行ってきたことが間違っていなかったのだと、大きな自信に  
なりました。引き続き、職員が一丸となって子どもたちが毎日楽しみに登園できる園  
に向かって内容を充実させていきたいと改めて思いました。  
当園の一番の課題である地域との関わりについて、評価委員の方からアドバイスもいただきましたので、少しずつ解決できるように努力していきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり